

ペンネーム	中村 信雄
-------	-------

【エピソードのタイトル】

初めてのマラソンでフル、そしてそれから。。

【エピソードの内容】

「走るの楽しいよねー」

「気持ちよかったねー、達成感♪」

居酒屋の隣の席で楽しそうに語らう人々の言ってる意味が全くわからなかった... 1年前までは。
-ただ、走るだけで何が楽しいの？しんどいだけやん?!- そう捉える事しかできなかった自分。

それが、ひょんな事から走る事になった。娘の 30kmウォーク完歩に触発されて『お父さんはフルマラソン走るぜ!』と... 彼女の前で言ってしまった。

《有言実行》私の頭の中を駆け巡る... 娘には普段から『決めた事はやろうぜ!』と言ってる。そんな私がフルマラソンを走ると言ったのだから... やらなきゃ全てが嘘になる。

その日から約3か月ちょっと《有言実行》の言葉が私に重く押し掛かってきた。

何度(無言実行にしとけば良かったな)と思ったか、何度(もしかしたら、言った事を忘れてるかも)と思ったか、何度(今日は雨だし、暑いからと練習サボる理由を探した)だろうか。練習は思いのほか辛い!!!

何が一番辛いかというと、この田舎で走るのの基本一人ぼっち... 洒落たコースが近くにあるわけでもなく、田んぼのあぜ道を走ってみたり、山の中の道路を走るとかしかなくて、走ってる途中にイノシシやシカに何度遭遇しただろう... (俺の走るコースはサファリパークですか-----)と何度心の中で思ったか... 一人ぼっちは時に寂しいのである。

-いかん、いかん こんなじゃあ俺完走出来ないわ- そう、心の中で思いはじめたとき、こちらの感動エピソードに辿り着いた 2012.

その時感じてた事を、メタボお父さんは汗を拭きつつ、ぶちまけて書いた。

数日後「取材を受けてみないか」と連絡があった。正直悩んだ... 何故かって《完走する自信が全くなかった》から。TVに出るということは私の中で《絶対完走しないと片がつかない》事だったから悩んだ... 悩んだ末に後日『宜しく願います』と電話した。

そう《ふがいない自分を崖っぷちに立たせたわけだ》

それからは、練習した。km8分 30 秒だと制限)時間内にゴールできるわけだから、とりあえず走った。

LSD という、まるで違法薬物かよ!と思わせるような名前のトレーニングもしてみたりして。

そうこうしてるうちにタイムが少しずつ縮まってきている事に気づいた。

《ムムム、なんか嬉しい》

10月には「このまま故障しなければ完走は出来そうかも」と思えるようになった。今思えば家族の協力なくしては練習も出来なかったし、走り終えてからの妻のお疲れ様の言葉でどれほど安堵感を覚えただろう、子供たちのお父さんがんばっての言葉に幾度となく救われただろう。取材スタッフの温かさにも助けられた。経験される言葉は私には心強いものだった。仕事先の皆さんの「頑張っちゃよるかん！」という激励も、全てが僕のパワーアイテムになった。

迎えた海響 2012 マラソン当日、私の体重は MAX 時から 25kg くらい落ちていた。

前夜 22 時に寝て 2 時に目が覚めた。家にも緊張するばかりなので、会場に向かった。夜明け前、これから迎える朝に期待と緊張を交えつつ到着した。先客は 2 人だったように記憶している。「行くのが早すぎた」と思ったのは言うまでもない。5 時過ぎくらいからだろうか、出場者が続々到着し始めたのは。その時はまだ私に笑顔はなかった。

時間になり控室を出てからスタートラインに向かう前、あまりの人の多さに思わずニヤリ。

スタートラインに着いた時には満天の青、そして私は満面の笑みになっていた。緊張感も全くなく、早く走りたいという思いに駆られていた。

そこには数千人の“ゴールする!!”という目的をもった同志たちで溢れていたから。

練習の時の一人ぼっちじゃないとは無縁の、今そこに立っている現実に歓天喜地した。

ピストルがなりスタートしてから走る最中、数人の方に声をかけてもらえた。「見ましたよ、頑張ってるね！」と。ここであの時の方々にお礼を言いたい

正直、体はしんどかったけれども心は最高潮に満ちていた。色んなものを背負って走っていることが楽しかった。

風が強い中、表示板等を持って立っている学生ボランティア、沿道の声援、大会関係者の皆様へは感謝感激しきりで... あなたがたの笑顔や声援がなかったら、きっと歩いただろうと思います。ありがとうございました。そして冒頭に出てくる娘が中学生や高校生になった時、海響マラソンボランティアに参加したい！と言う日がくるのだろうかなんて楽しみにしていたりもします。

人は人によりて人となるではないけれども、人の温かさを目いっぱい感じれる大会であると同時に、走るという事、そして大会に出るという事は「楽しい!!」のです。

声を大にして言いたい!! なんか知らんが走るのは楽しいんだよ！

今年もお世話になります。色んな感動をいただきに伺います。